

SOFTOPIA JAPAN
ソフトピアジャパン



発表会 2021
Presentation



大垣市スーパーシティ 未来構想提言

地域未来構想研究会2021報告書

2021年11月19日 ソフトピアジャパン情場クラブ

官民連携での大垣市未来ビジョンを創出する

中間報告までで、見出した今後の検討ならびに課題

地域にとって価値ある場づくり

情報基盤・プラットフォーム

スマートシティ大垣推進協議会発足

オープン・データ化への基礎構築

理念・目標具現化のための流れ



まちにおける存在価値



運営と空間の最適化



担い手の発掘・育成



ソリューションの検討

3つのポイント

- 1 大垣という地域特有の魅力を活かすこと
- 2 市民と行政、そして企業が同じ理念のもと参画できる取り組みであること
- 3 企業の興味喚起をひき、パートナーシップ連携につながる取り組みであること

人の思考回路は長期視点へ

将来はどうなっているの
だろう、、、**ありたい姿は？**

でも、、、
大垣の**将来**がどうなって
いくかを**今**、知りたい

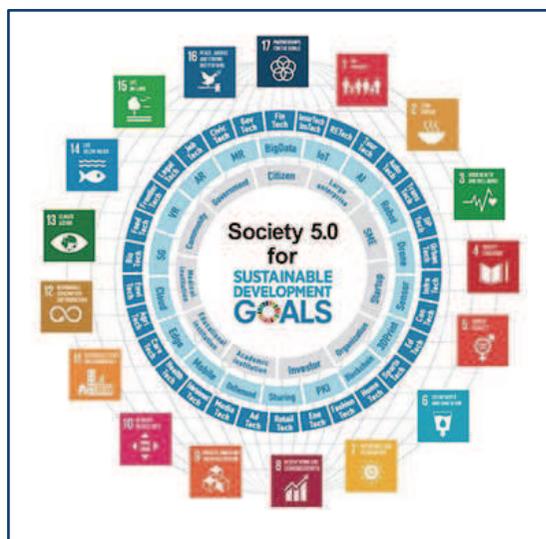
想定する
時間軸が**長い**、、、
ということは**不確実要素**
が多くなるということ



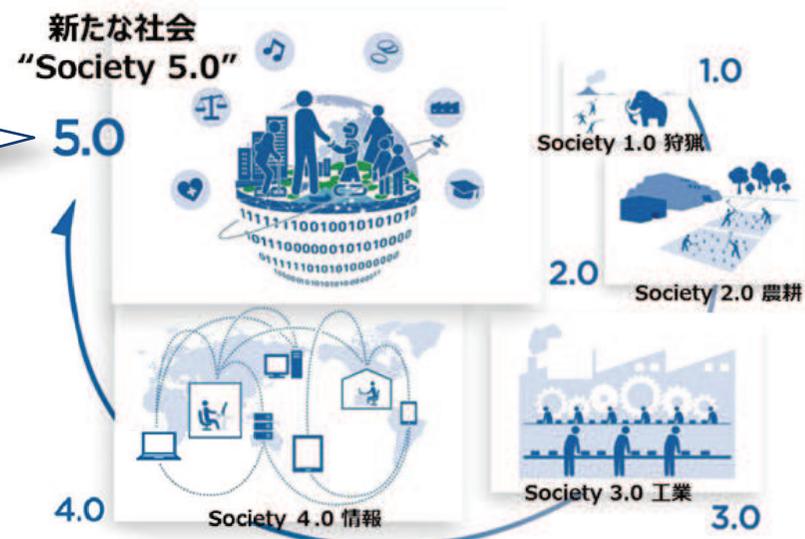
Super
City

J-Tech challenges SDGs

SDGs／Society 5.0の思考で、大垣のまちづくりに活かす



出所:経団連 Webサイト「Society 5.0 for SDGs」より



出所:内閣府 Webサイトより

3つのポイント

- ① 大垣という地域特有の魅力を活かすこと
- ② 市民と行政、そして企業が同じ理念のもと参画できる取り組みであること
- ③ 企業の興味喚起をひき、パートナーシップ連携につながる取り組みであること

SDGsが秘める大きなポテンシャル

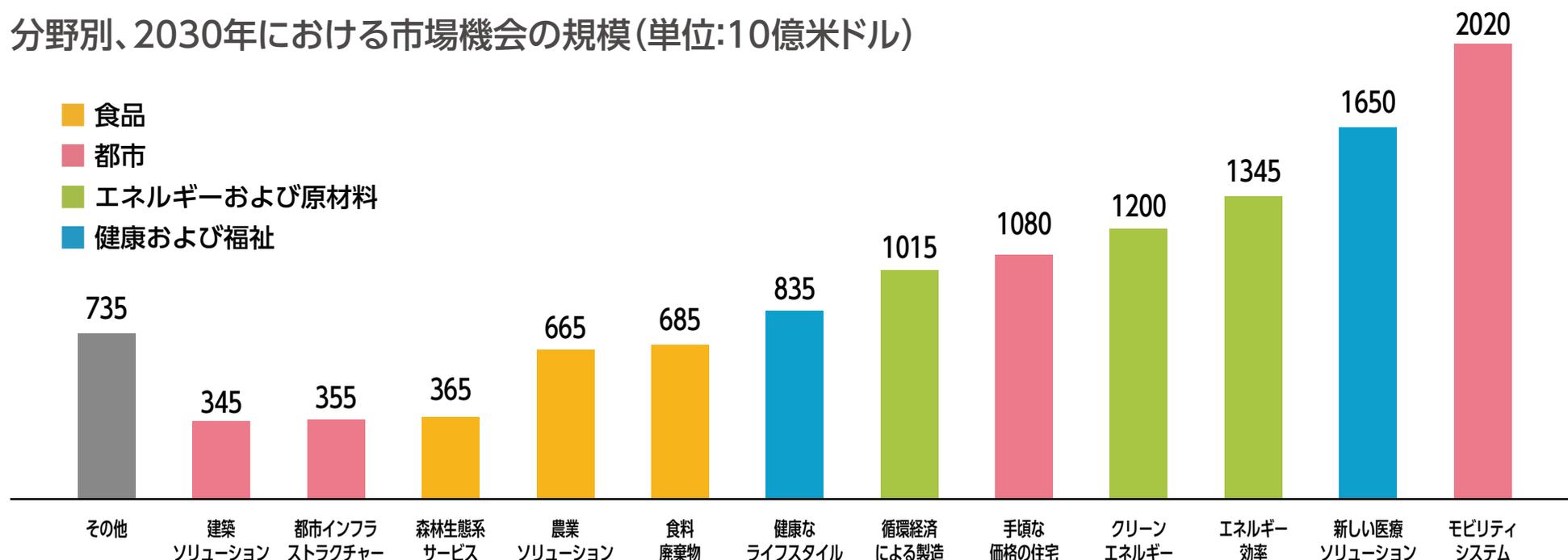
SDGs達成によってもたらされる
市場機会の価値

年間**12兆ドル**

2030年までに世界で
創出される雇用

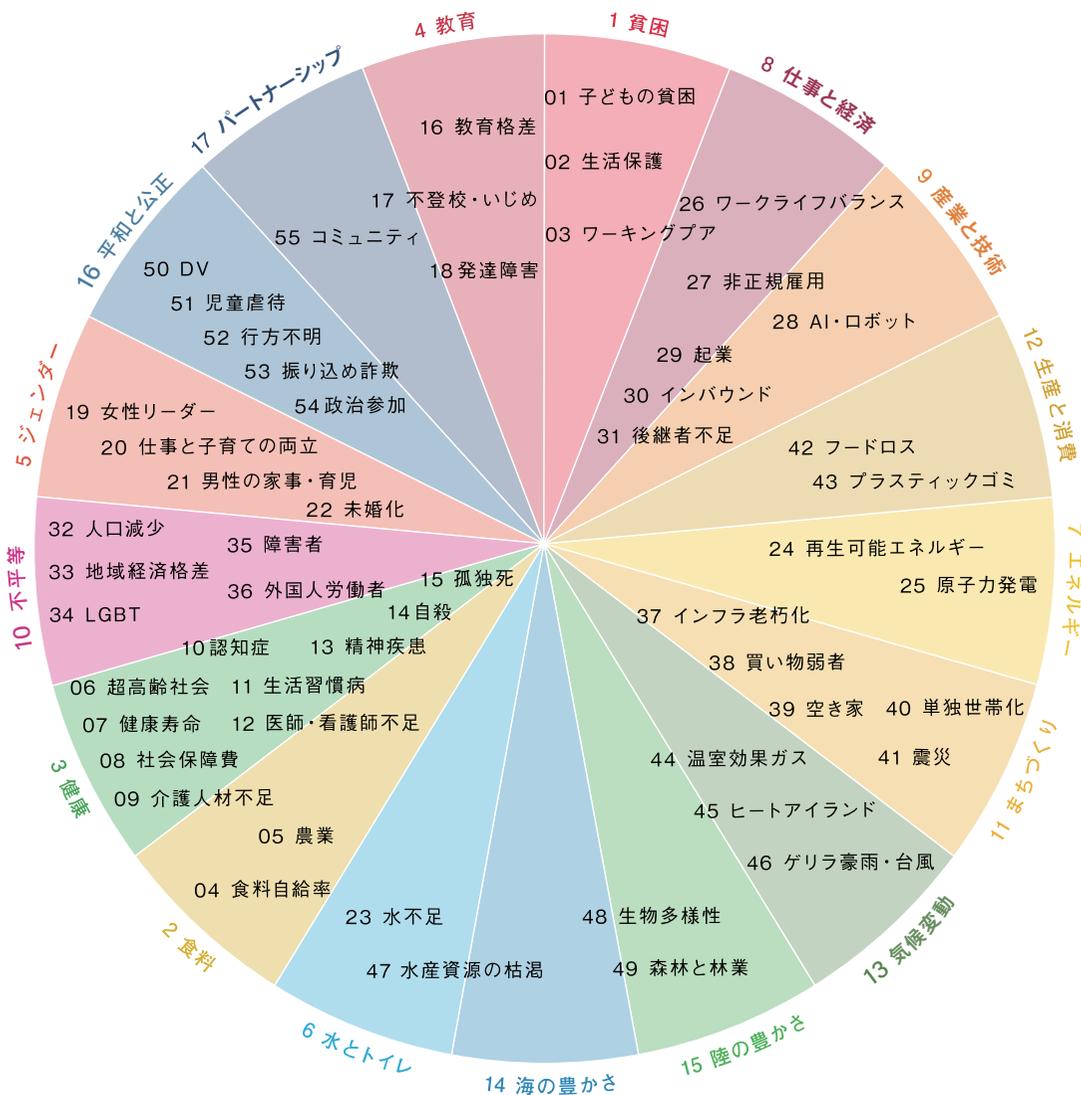
約**3億8000万人**

分野別、2030年における市場機会の規模(単位:10億米ドル)

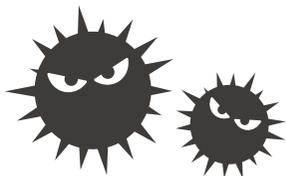


※2015年の数値

SDGs視点で地域課題を包括的に理解する



Japan SDGsアクションプラン2021



新型コロナウイルス感染症の拡大

コロナに打ち勝つ



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

⚠️ 取り組みの遅れが懸念!

+

よりよい復興

「SDGs実施指針」に基づく2021年の具体的施策

SDGsアクションプラン2021

I.

感染症対策と
次なる危機
への備え

ワクチン・診断開発
食育 保健システム

II.

よりよい復興に向けた
ビジネスとイノベーション
を通じた成長戦略

ESG投資
DX Society5.0

III.

SDGsを原動力とした
地方創生、経済と環境
の好循環の創出

カーボンニュートラル
防災・減災 SDGs未来都市

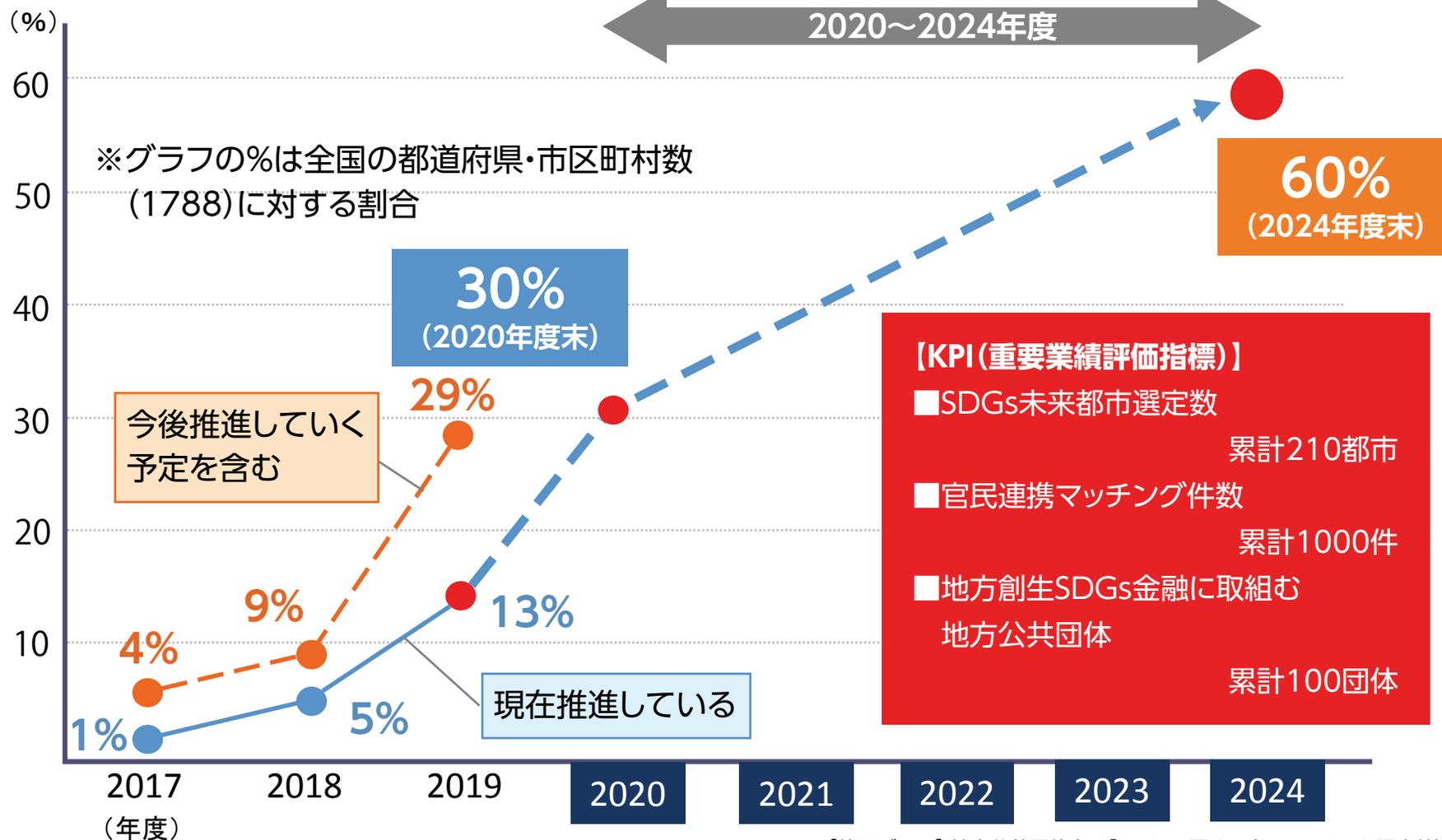
IV.

一人ひとりの可能性
の発揮と絆の強化を
通じた行動の加速

持続可能な開発のための教育
ダイバーシティ 子供の貧困

内閣府 第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における地方創生SDGsのKPI

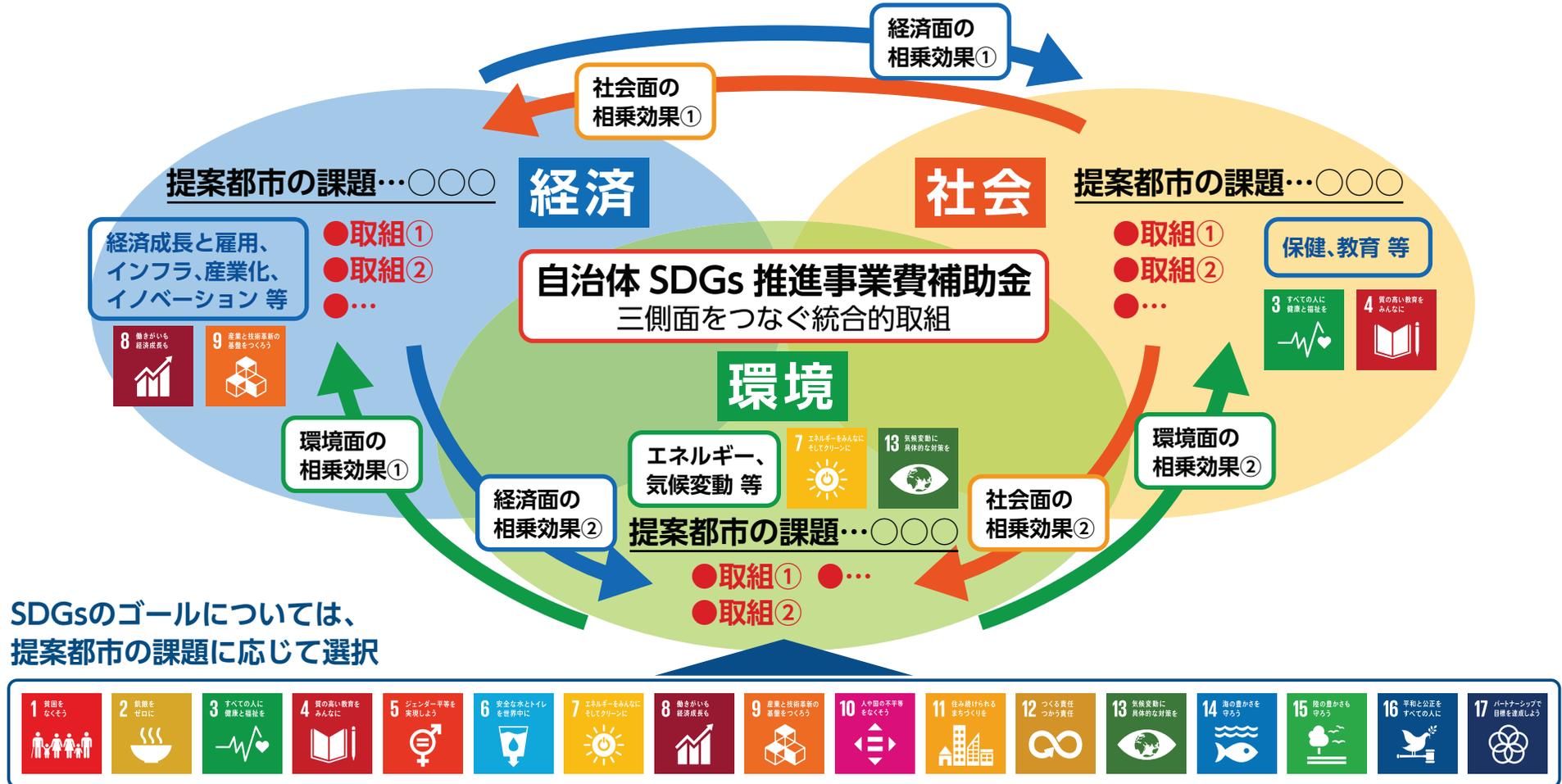
SDGsの達成に向けた取組を行っている地方公共団体の割合



【使用データ】:地方公共団体向け「SDGsに関する全国アンケート調査」等

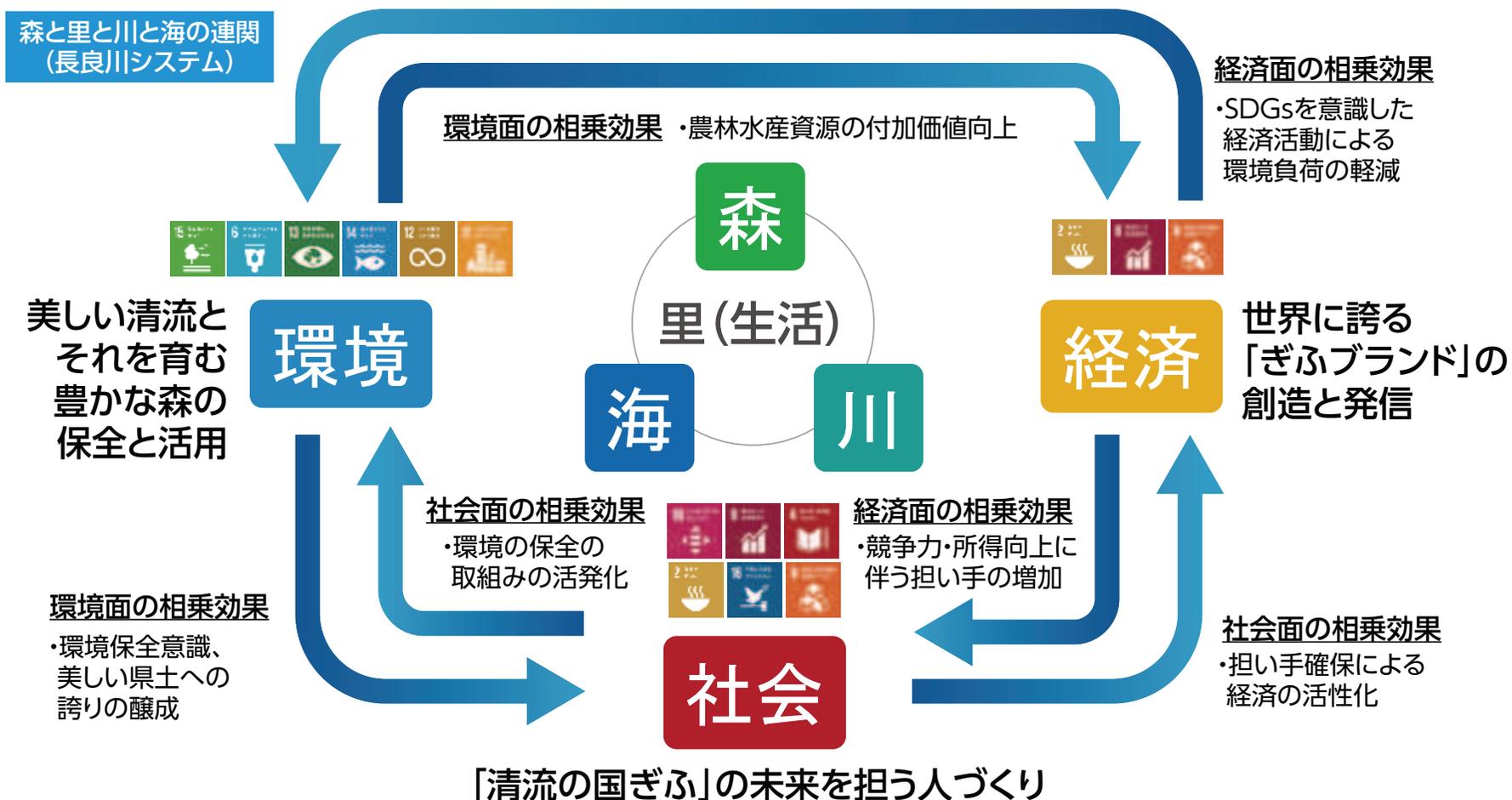
SDGs未来都市は210都市へ

2024年、SDGs未来都市は210都市へ 国は企業と自治体との連携



岐阜県のモデル事業の統合的取組みによる相乗効果

長良川システムを核として、環境、経済、社会のつながりで成果を上げる



2020年12月17日 「ゼロカーボンシティおおがき」の宣言



2021年2月18日「環境SDGsおおがき」推進プロジェクト発足



2019年3月21日「OGAKI CITY MIRAI VISION」



OGAKI CITY MIRAI VISION

みんなで創る 希望あふれる産業文化都市

基本構想 2018 ▶ 2047 第1期基本計画 2018 ▶ 2022

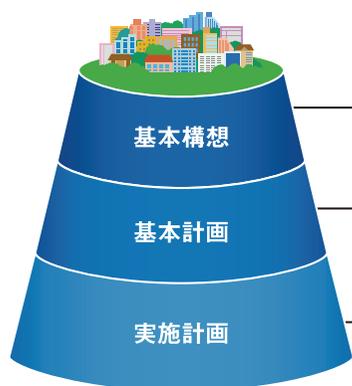
本資料は、サンメッセ総合研究所 (Sinc) がご提供させていただくサービスをお客様にご説明差し上げる目的で作成された内容であり、当該目的以外での使用は固くお断りいたします。

また、本資料の一部または全部を無断で複製複写、転用ならぬようお願い申し上げます。

なお、掲載情報は信頼しうると考えられる情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

2019年3月21日「OGAKI CITY MIRAI VISION」構成

大垣市未来ビジョンの構成と計画期間



- 基本構想**
 未来の本市のあるべき姿を示した、市政運営の指針となるものです。
 期間：2018年度～2047年度（30年間）
- 基本計画**
 基本構想の実現のための施策を体系的に定めた、市政運営を総合的かつ計画的に進めていくためのものです。
 期間：第1期から第6期、5年間毎に区分して策定
- 実施計画**
 基本計画に示した施策を計画的かつ効率的に実施するため、具体的な事業を示したものです。
 期間：計画期間は1年間とし、毎年度策定

(年度)

区分	2018～2022	2023～2027	2028～2032	2033～2037	2038～2042	2043～2047
基本構想	[Red bar spanning all years]					
基本計画	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期
実施計画	[Green checkmarks]	[Green checkmarks]	[Green checkmarks]	[Green checkmarks]	[Green checkmarks]	[Green checkmarks]

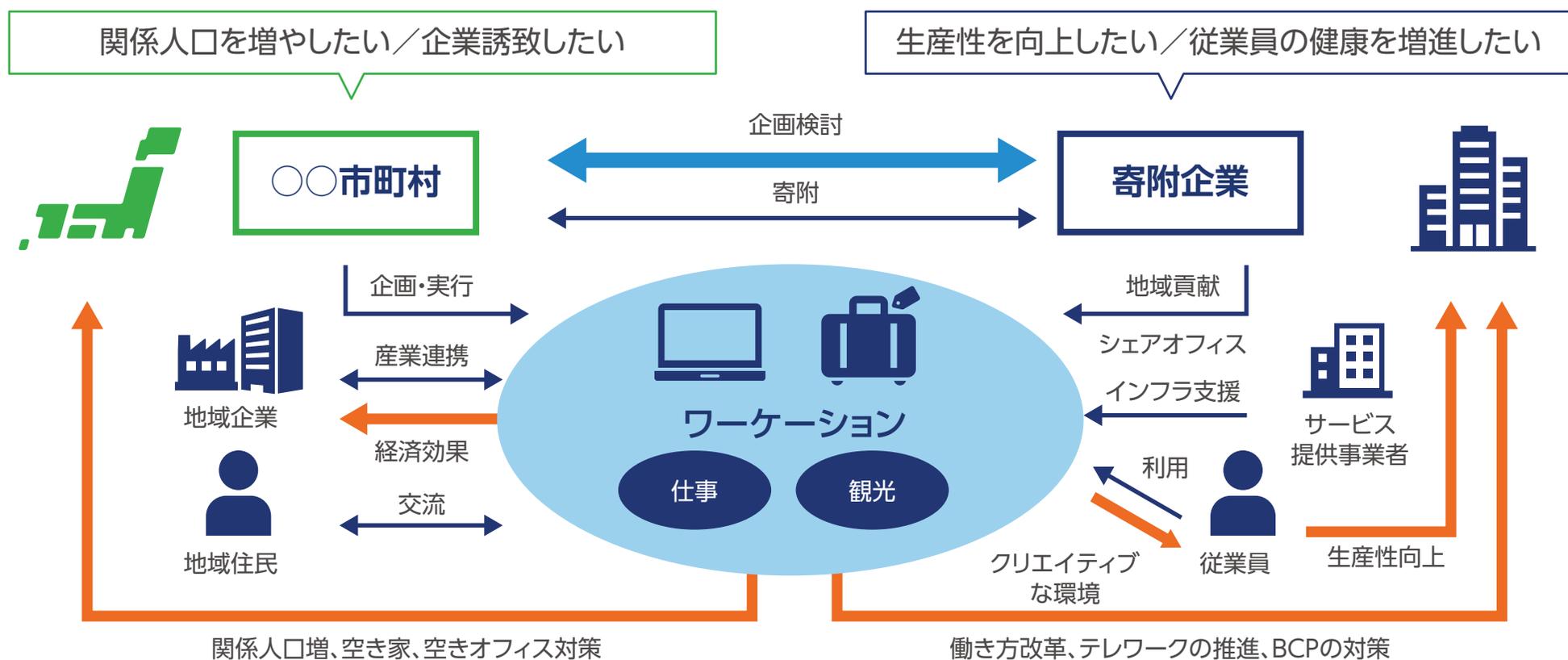


ふるさと納税活用の地域課題解決策(ワーケーション)

ワーケーションを活用した働き方改革

寄附企業が長期的に得られる価値:(1)生産性向上、(2)従業員の健康増進

地域が長期的に得られる価値:(1)関係人口増、(2)企業誘致の促進

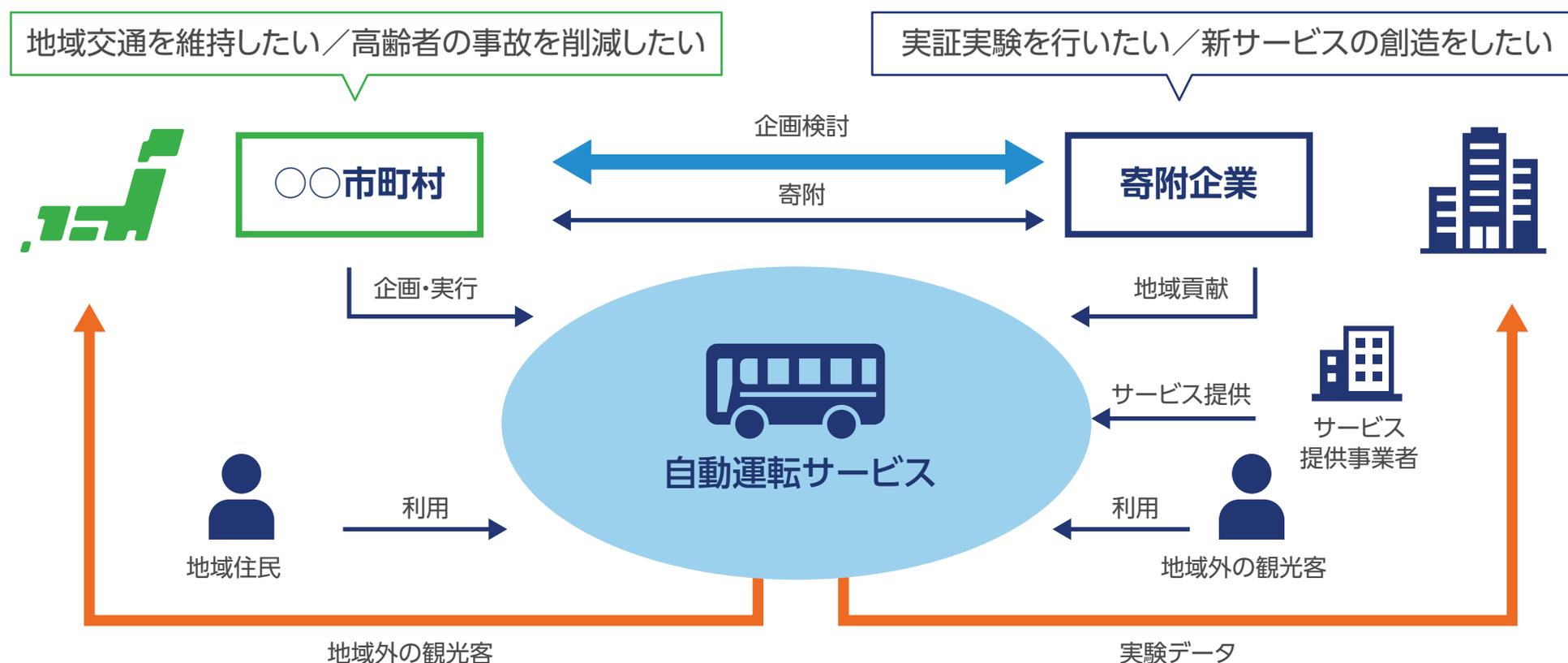
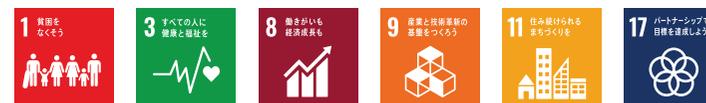


ふるさと納税活用の地域課題解決策(自動運転サービス)

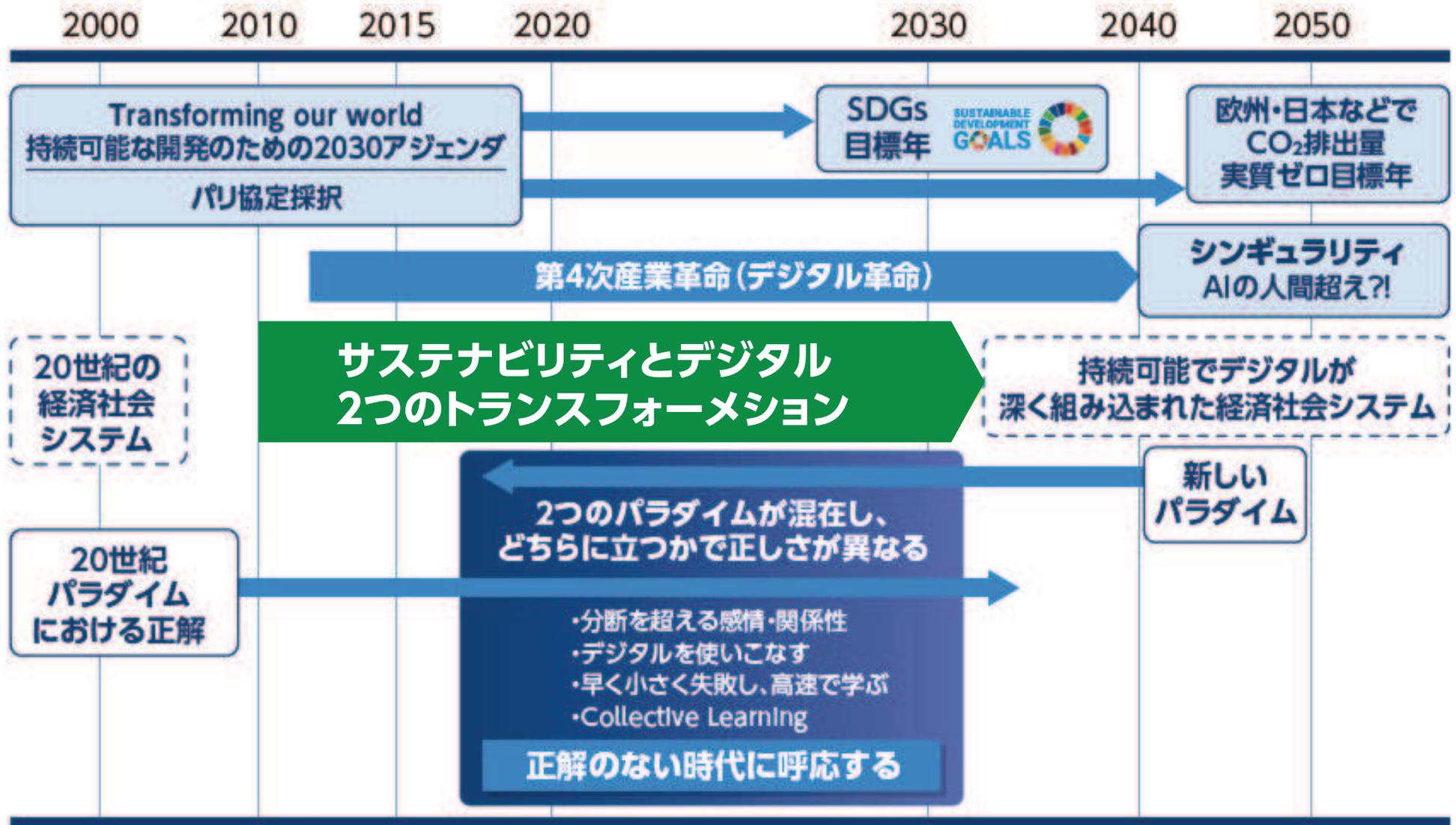
自動運転サービスなど実証実験での連携

寄附企業が長期的に得られる価値:(1)実験データの蓄積(2)新サービスの創造

地域が長期的に得られる価値:(1)地域交通の維持(2)住民満足度の向上

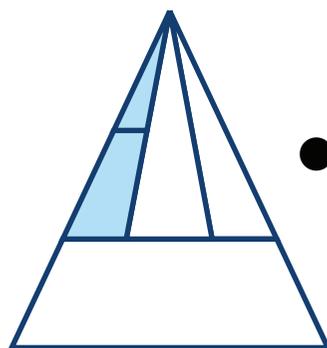


トランスフォーメーションの時代:正解のない時代に呼応する



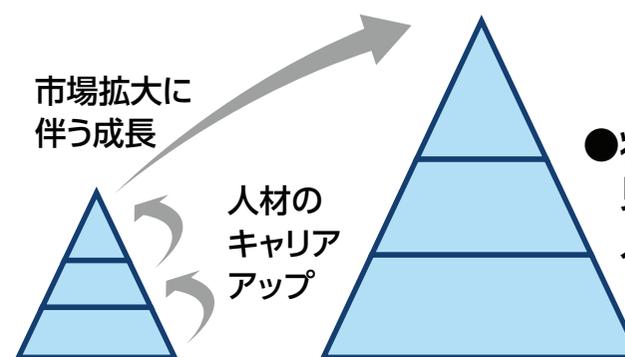
これからの企業誘致・産業創出の方向性

方向性① 首都圏の高付加価値機能の一部を地方に移転



●大学、復興事業を核とした
研究開発拠点の誘致、等

方向性② 次世代を担う産業の
地方での育成



●将来のICT産業を
見据えた新事業創出、
人権育成、等

《地方経済の方向性》

これまでの産業

レトロ

新たな産業を加えて育ててゆく

新しい産業

新たな場の中核としての次世代SJの変革

～2025年、～2030年(SDGs目標達成年度)に向けたOutcome

①地域特性を活かし、注目されるプロジェクトの発足

スマートシティ大垣推進協議会

⑥大垣企業と誘致企業による

生産性向上と
地方創生の実現

50%

⑤企業誘致による移転増・
育成人材の生産性向上

生産年齢人口の
定着



④企業の移転ニーズを
踏まえた集積拠点の整備
本格的な企業誘致・移転機能の実現
SJの本格的な稼働

②SJ参画企業を中心に、
同じ目標を共有する企業誘致
交流・関係人口増加

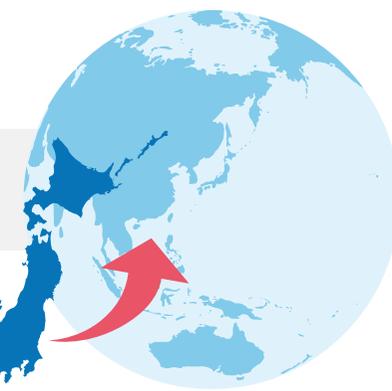
50団体

③プロジェクトに必要な人材

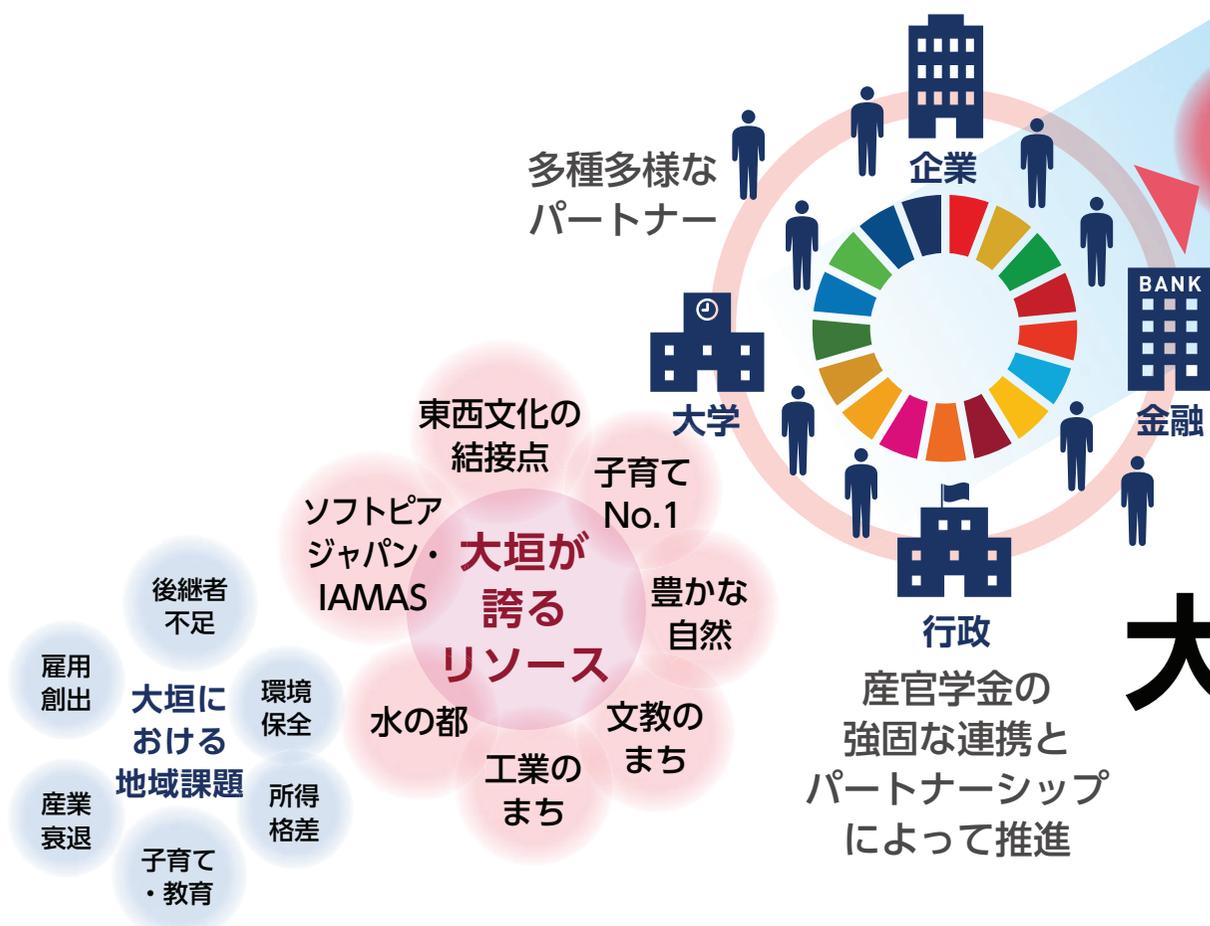
産学連携

200人

大垣市でチャレンジすべきスーパーシティ & SX 構想



大垣から
岐阜へ、
日本へ、
世界へ発信



大垣ならではの SDGsを追求

ご清聴有難うございました。

サンメッセ株式会社 取締役 専務執行役員 経営企画室長 サステナビリティ担当
兼 営業副本部長 兼 ソリューション統括部長
サンメッセ総合研究所 (Sinc) 代表
SB Japan Lab / サステナブル・ブランド国際会議 ESGプロデューサー

田中 信康

tshoken@sunmesse.co.jp

